

# 奈良県感染症情報

平成 25 年 第 48 週( 11 月 25 日～ 12 月 1 日)  
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

■ 小児科外来情報

今回より週報を大幅にリニューアルしました

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.68	(4.00)	↑	↗	↑	↑
2	A群溶連菌咽頭炎	1.00	(0.62)	↑	↗↗	↗	↑
3	RSウイルス感染症	0.94	(0.91)	→	→	↘	↗↗
4	水痘	0.68	(0.59)	↗	↑	→	↓
5	咽頭結膜熱	0.59	(0.35)	↗↗	↗↗	↗↗	↗↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

## ◆ 県内概況 ◆

### ◆ 奈良県内全域で、感染性胃腸炎が増加傾向です。

《説明》 ノロウイルスは冬季に流行し、主な症状は、嘔吐、下痢、微熱など。潜伏期間は平均 1 から 2 日。患者年齢層は生後 1 歳から学童児(保育園、小学校)、老人層(福祉施設など)などで多く発生。二枚貝(牡蠣)の生食には注意が必要(十分に加熱する)。ごく少量(10～100 個粒子程度)でも体内に入ると感染する(感染力は強い)。現在、特効薬、ワクチンはなく、手洗いなどの一般的な感染予防対策の励行が必要。

### ◆ 奈良県内全域で咽頭結膜熱(プール熱)の再流行の兆しがあります。

《説明》 プール熱は、のどの炎症や発熱、結膜炎の症状が出るアデノウイルスによる急性ウイルス性感染症。タオルやドアノブなど患者が触れたものを介してうつり、保育園、小学校などで多く発生。主に夏場に流行するが、国立感染症研究所によると 1999 年より秋と春にも小さな山がみられるようになっている。対症療法が中心。うがいや手指の消毒など一般的な感染予防対策の励行が必要。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(矢追医院)

寒くなり感染症もすっかり冬型に移行しました。B 型インフルエンザによる学級閉鎖が奈良市の小学校で起きています。一方保育園児でも迅速検査では A 型がみられます。症状は例年通りです。今後流行が拡大するかは局地的ですので不明です。ノロウイルスによる感染性胃腸炎も流行し始めています。学校閉鎖になった小学校もあります。今年は嘔吐と腹痛が主体で下痢症状はあまり目立たない場合が多い印象です。保育園の乳幼児を中心に RS ウイルス感染症の流行も依然として続いています。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は微増程度、日により少ない日もある状況。軽度の感冒が主。RS は減少し殆ど見られなくなった。発疹も伴う A 群溶連菌感染症が数例あったが流行と言うほどではない。水痘が小流行。感染性胃腸炎はノロ様の嘔吐の例が多いが検査実施例は少ない。水様下痢例が増加しているがロタはなかった。インフルエンザは 2W 前に 2 例を認め、以降なかったが 5 日(49 週)9 才姉・7 才弟の A 型インフルエンザがあった。

### 南部地区(県立五條病院小児科)

感染性胃腸炎が増加。ノロウイルス感染様の嘔吐が主症状のものが多いが、カンピロバクター腸炎の兄妹例やロタウイルス胃腸炎の姉弟例もあった。インフルエンザは当科では発生していない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 25 年 第 48 週 11 月 25 日 ~12 月 1 日

保健所別報告数	奈良県						
	奈良市	北部	中部	南部			
インフルエンザ定点数	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	9 (0.17)	4 (0.36)	4 (0.25)		1 (0.09)		
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2
RSウイルス感染症	32 (0.94)	10 (1.43)	5 (0.50)	7 (1.00)	5 (0.71)	1 (1.00)	4 (2.00)
咽頭結膜熱	20 (0.59)	1 (0.14)	1 (0.10)	3 (0.43)	14 (2.00)		1 (0.50)
A群溶連菌咽頭炎	34 (1.00)	5 (0.71)	18 (1.80)	3 (0.43)	7 (1.00)	1 (1.00)	
感染性胃腸炎	159 (4.68)	37 (5.29)	29 (2.90)	34 (4.86)	44 (6.29)	10 (10.00)	5 (2.50)
水痘	23 (0.68)	7 (1.00)	9 (0.90)	3 (0.43)	4 (0.57)		
手足口病	8 (0.24)	1 (0.14)		3 (0.43)	1 (0.14)		3 (1.50)
伝染性紅斑	1 (0.03)		1 (0.10)				
突発性発しん	6 (0.18)	2 (0.29)	1 (0.10)	2 (0.29)	1 (0.14)		
百日咳							
ヘルパンギーナ	1 (0.03)	1 (0.14)					
流行性耳下腺炎	6 (0.18)	5 (0.71)	1 (0.10)				
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1
急性出血性結膜炎	1 (0.11)				1 (0.5)	-	
流行性角結膜炎	1 (0.11)				1 (0.5)	-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0
細菌性髄膜炎							-
無菌性髄膜炎							-
マイコプラズマ肺炎							-
クラミジア肺炎							-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)					2 (2.00)	-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	なし
2類感染症	結核 4件 (奈良市 1、郡山 1、桜井 1)
3類感染症	なし
4類感染症	なし
5類感染症	梅毒 1件 (奈良市 1)

❖ 第 48 週のトピックス ❖

◆今後、厚生労働省から法律改正のお知らせや、国立感染症研究所などからの情報提供があればこちらの覧でトピックスとしてお知らせする予定です。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女				1	1		1				1	1					1				5	4639
RSウイルス感染症	男女	4	1	9	1							1	2									18	363
咽頭結膜熱	男女			1	2	2		2	1	3	2	2	1									11	247
A群溶連菌咽頭炎	男女		1			2	5	3	2	3	1	2	3	1		1						17	555
感染性胃腸炎	男女	1	2	16	11	10	3	4	3	5	3	4	4	2	9							77	3552
水痘	男女			2	3	3	1	1				2										12	567
手足口病	男女	1		2	3	1					3	1										6	1096
伝染性紅斑	男女																		1			1	14
突発性発しん	男女		1		1																	2	260
百日咳	男女																						1
ヘルパンギーナ	男女					1																1	319
流行性耳下腺炎	男女						2		1													3	84
急性出血性結膜炎	男女																					1	5
流行性角結膜炎	男女																		1			1	85
細菌性髄膜炎	男女																					1	4
無菌性髄膜炎	男女																						3
マイコプラズマ肺炎	男女																						8
クラミジア肺炎	男女																						7
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女		1																			1	1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H25 ▲ H24 □ H23 〻 過去10年平均

